

## 製品情報

# BIOZ Topaz トパーズ



トパーズは、ダイズなどの豆類向けの種子処理剤（バイオスティミュラント）で、モリブデン及び超微量元素の作用により、根粒の活性を高め、窒素固定を促進する資材です。根粒菌の接種資材との相性も良く、近年研究が進んでいる微量元素群の生理活性に着目し、マメ科作物の高い生産性を実現します。

### 利点

- ・発芽の過程から、窒素の吸収効率を促進
- ・深根性: 乾燥耐性と養分吸収に優れた効果
- ・作業性が良く、種子に均一に展着
- ・最適なpH: 根粒菌の着生を促進

### 製品特性

- ・物理的性質：暗褐色粘稠懸濁液
- ・用途：種子処理剤
- ・製品荷姿：1L/本
- ・原産国：ブラジル
- ・含有成分：カリウム、モリブデン、その他超微量元素、海藻エキス（アスコフィルム・ノドサム）含有
- ・使用期限：製造年月日より3年
- ・製品コード：500965

### 施用量

栽培品目	施用量 (ml/10a)	施用時期
ダイズ・豆類	15	種子処理

\*具体的な施用量に関しては、裏面をご参照ください。



BIOZ Topaz(種子処理済)

### 製品レンジ

BIOZ (バイオスティミュラント)			
製品名	用途	栽培品目	製品コード
BIOZ Topaz	種子処理	ダイズ・豆類	500965
BIOZ Nephrite	葉面散布	ダイズ・豆類	500961
BIOZ Onyx Annual	葉面散布	水稻・小麦・ダイズ	500962
BIOZ Onyx Permanent	葉面散布	馬鈴薯・果樹類	500966
BIOZ Moonstone	葉面散布	作物全般	500960
BIOZ Sunstone	種子処理	水稻・小麦・トウモロコシ	500964



種子処理剤として使用

↓

- ・発根量増大
- ・根粒形成促進
- ・ダイズ植物体の窒素固定を促進



# BIOZ Topaz トパーズ

## 種子処理方法

- ① 種子1kgに対する必要量を計算します。
- ② 塗抹用の殺虫・殺菌剤（クルーザーMAXX、クルーザーFS30）と併用する場合は、ピーカー等で塗抹前に十分に混ぜます。
- ③ 計量品をミキサーまたは肥料混和機にかけ、播種直前に塗抹処理します。
- ④ 珓藻土等の乾燥助剤、粉衣用の殺菌剤、根粒菌資材を使用する際は、塗抹後に適量の粉末・薬剤をミキサー内にかけてください。
- ⑤ 塗抹・粉衣後、平らな場所に新聞紙等を広げ、種子をその上で十分に乾かしてください。

※塗抹後の種子は、（5～20℃で保管し）およそ3週間以内に播種してください。

高温過湿・長期の保管は発芽率の悪化を招きます。

※単独塗抹の場合は、お問合せください。

## 殺虫・殺菌剤との混和テスト

新しい組み合わせの種子処理剤を試す場合、種子2kg当たりの薬剤を混ぜて以下の点を確認してください。

- a. 化学反応を起こし、塊が出来ないこと
- b. 大量の気泡が発生しないこと
- c. 粘性が著しく低下していないこと

## 必要量の計算

種子1kgに対するトパーズ必要量(ml/種子1kg)は、15ml/10aを基準として、10a当りの施用量を播種量で除してください。

$$\begin{aligned} \text{トパーズ施用量} &= 15(\text{ml}/10\text{a}) \div A(\text{kg}/10\text{a}) \\ &= X \text{ ml/kg} \end{aligned}$$

## ダイズ・豆類の必要量早見表

播種量(kg/10a)	必要量(ml/kg)
3.0	4.00*
4.0	3.75
5.0	3.00
6.0	2.50
7.0	2.14
8.0	1.88
9.0	1.67

\*10a当たりの播種量が3.8kg未満の場合は、特定推奨施用量4.00mlを施用してください。

## 乾燥助剤の使用法・注意点

1. ダイズ種子1kg当たり、珓藻土2g（小豆の場合は珓藻土4g/種子1kg）を目安に使用してください。
2. まぜコンなどの塗抹機にダイズ種子を投入してください。
3. 殺虫・殺菌剤とタンクミックス（混用）したトパーズ液を投入し、約30秒～1分ほど攪拌します。
4. 塗抹機を停止し、珓藻土を所定量の半量投入します。さらに30秒攪拌・停止後、残りの珓藻土を全量投入します。その後、1分半ほど攪拌させながら乾燥させます。薬剤が剥離する恐れがありますので、混ぜすぎないでください。



写真：クルーザーMAXXとの混用



写真：ミキサーでの種子処理



写真：珓藻土粉衣後のダイズ種子